

# 区議会レポート

葛飾区議会議員

## かわごえ誠一

本号の内容

第二回定例会開会など



# 号外

2022年6月13日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

fax 03-3697-0137

## 令和4年葛飾区議会第二回定例会開会

### かわごえ誠一、本会議初日一般質問に登壇

◆令和4年区議会第二回定例会が開会し、6月7日（火）の本会議初日にかわごえ誠一が一般質問に登壇しました。

◆1つ目として「都市計画マスタープランと水と緑に関わる環境整備について」の質問をし、都市マスへの子育て世代の参加を要望しました。また、基本計画等で掲げられている「水と緑」について、具体化を求めるとともに、中川周辺の道路環境などの計画的な整備を求めました。

◆2つ目の項目として「持続可能な文化・芸術の振興について」の質問をしました。23区の中で文化芸術の条例や・計画・会議体などが整備されていないのは葛飾区のみという状況を指摘し、文化芸術の振興にかかる、計画や方針を求めました。また、デジタル技術の導入、障害者アートへの支援、川甚跡地の活用などを求めました。

◆3つ目として「将来を担う子ども・若者を社会全体で支えるための総合的な計画について」の質問をしました。貧困やヤングケアラーなど子どもに関わる複合的な課題を指摘し、将来に向けて継続的な支援をするために、分野横断的かつ総合的な計画の策定を求めるとともに、子どもの権利についてや、遊び場の課題などの質問をしました。また、ジェンダーの問題として学校での「混合名簿」の導入などを求めました。

◆一般質問の詳細は次号以降で改めてご報告いたします。



第二回定例会で登壇するかわごえ

### 立憲民主党参議院比例総支部長 しば慎一さん葛飾区に来訪



夏の参院選に向け立憲民主党より公認を受けたしば慎一さん

◆6月初旬にJP労組中央副執行委員長の「しば慎一」さん（立憲民主党参議院比例総支部長）が葛飾区に来訪しました。◆労働組合に入った当初、先輩から「今、あなたが困っていることをだましていると、これから入ってくる人たちも同じことに困り続けることになるよ」と言われたことが、自分だけでなく「全ての人のために活動する」原点となったと語られました。◆また、多様性について、ご自身のこととして、ご夫婦で不妊治療したが、お子さんが授からなかった経験があり、「子どもがいることが普通」という「世間の常識」を無意識に押しつけられている現実を強く感じたと語られました。◆そこから「普通」という常識を押しつけることなく、様々な形の家族があっていいという、多様性を認め合える社会の必要性を痛感したとのことです。◆選択的夫婦別姓や障害者差別の問題など、世間の「普通」を押し付けることなく、一人一人が自分らしく、幸せに生きられる社会を目指し、さらに、多様性を認め合える社会をつくるべきだと、力強く語られました。



2020.6.13 号外

# 立憲民主

RIKKEN MINSHU

立憲民主党 立憲民編集部

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2-12-4 ふじビル3F

Tel. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302

◆参議院議員の半数が改選される3年に一度の参議院議員選挙の投票日が7月10日に予定されています。◆参議院選挙は東京などの「選挙区」と、全国を対象の「比例代表」があります。◆「比例代表」は政党名か個人名を記入する「非拘束名簿式比例代表制」により実施されます。